

## 令和2年 病害虫防除指導情報 第3号

作物名：にんにく

病害虫名：春腐病、さび病

県南地域で春腐病が、津軽地域でさび病が多く発生しています。  
～ ほ場をよく見回り、薬剤防除を徹底しましょう。～

### 1. 春腐病

#### (1) 発生状況（発生量：やや多い）

- ア 4月中旬の巡回調査において、県南地域で発生が多く認められている。県南地域の発生地点率、発病株率、発病度はいずれも平年より高かった。また、津軽地域でも発生地点率が平年より高い状況にある（図1）。
- イ 越冬前の生育量が大きく、例年より凍雪害を受けやすかったと推察される。
- ウ 向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並の見込みであるが、腐敗株の多かったほ場では注意が必要である。

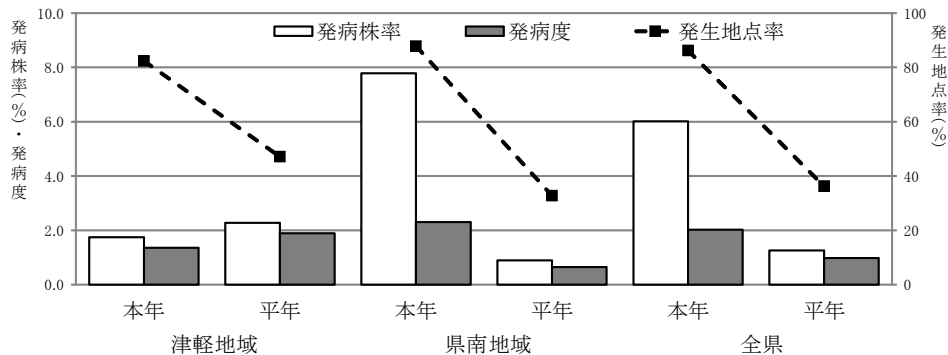


図1 4月中旬の巡回調査における春腐病の発生状況

#### (2) 防除対策

以下の点に留意し、適期防除に努める。

- ア 消雪後の腐敗株は伝染源となることがあるので抜き取る。
- イ 本病は有機物が過剰に投入されたほ場や窒素過多等で生育が旺盛なほ場では多発する傾向があるので、予防散布に努める。

表1 ニンニク春腐病防除薬剤一覧 《令和2年度農作物病害虫防除指針より抜粋》

農薬名	FRACコード	有効成分種類	使用時期	使用回数	成分総使用回数
Z ボルドー	M01	塩基性硫酸銅	—	—	—
I C ボルドー66D	M01	塩基性硫酸銅	—	—	—
コサイド3000	M01	水酸化第二銅	—	—	—
キンセット水和剤80	M01	水酸化第二銅	収穫7日前	5回	—
	M01	有機銅			5回以内
バリダシン液剤5	U18	バリダマイシン	収穫7日前	5回	5回以内
アグリマイシン-100	25	ストレプトマイシン硫酸塩	収穫7日前	3回	3回以内
	41	オキシテトラサイクリン			3回以内
カスガマイシン・銅水和剤*	24	カスガマイシン一塩酸塩	収穫7日前	5回	5回以内
	M01	塩基性塩化銅			—
ナレート水和剤	31	オキシソリニック酸	収穫7日前	2回	2回以内
	M01	有機銅			5回以内
カセット水和剤	31	オキシソリニック酸	収穫7日前	2回	2回以内
	24	カスガマイシン一塩酸塩			5回以内

\*カスガマイシン・銅水和剤：カスミンボルドー、銅水和水和剤

## 2. さび病

### (1) 発生状況（発生時期：やや早い 発生量：やや多い）

ア 4月中旬の巡回調査において、県内全域で越冬病斑が認められ、津軽地域では新規病斑の形成も認められた。

特に津軽地域では発生地点率、発病株率、発病度いずれも平年より高かった（図2）。

イ 向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量はほぼ平年並の見込みであり、越冬病斑が多かったほ場や既に新規に形成された病斑が見られるほ場では、降雨により早い時期からまん延しやすいと予想される。

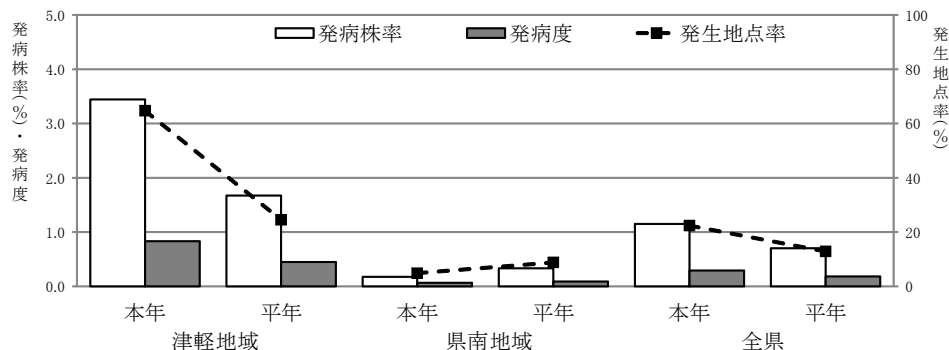


図2 4月中旬の巡回調査におけるさび病の発生状況

### (2) 防除対策

発生状況の以下の点に留意し、適期防除に努める。

ア 越冬病斑が多いほど初発時期は早くなり、初発が早いほど多発する傾向がある。ほ場をよく見回り、新しい病斑が認められた場合には早めに薬剤散布する。

イ 本病は気温が5～25℃、結露時間が5時間以上で感染する。今後、連続した降雨などの気象条件が予想される場合は、その前後で薬剤散布する。また、散布にあたっては、下葉までまんべんなく薬液がかかるよう丁寧に散布する。

ウ 各防除薬剤における効果持続時間（散布間隔）は下表のとおりであるので、これを参考に効率的に防除を実施する。なお、発生が多い場合は、表に示した効果持続期間より散布間隔を短くする。

表2 ニンニクさび病防除薬剤一覧 《令和2年度農作物病虫害防除指針より抜粋》

農薬名	FRACコード	系統名	有効成分種類	本剤の使用回数	成分総使用回数	使用時期	さび病蔓延期における効果の持続期間		
							21日程度	10～14日程度	7～10日程度
アミスター20フロアブル	11	QoI	アゾキシストロビン	3回以内	3回以内	収穫7日前まで	○		
アミスターオプティフロアブル	11	QoI	アゾキシストロビン	3回以内	3回以内	収穫7日前まで	○		
	M05	クロロトリル	TPN		6回以内				
オンリーワンフロアブル	3	DMI	テブコナゾール	3回以内	3回以内	収穫7日前まで	○		
シグナムWDG	11	QoI	ピラクロストロビン	3回以内	3回以内	収穫3日前まで	○		
	7	SDHI	ボスカリド		3回以内				
ラリー乳剤	3	DMI	ミクロブタニル	3回以内	3回以内	収穫3日前まで		○	
ストロビーフロアブル	11	QoI	クレソキシムメチル	3回以内	3回以内	収穫7日前まで		○ (10日程度)	
テーク水和剤	3	DMI	シメコナゾール	3回以内	6回以内（植付前は1回以内、植付後の株元散布は2回以内、散布は3回以内）	収穫7日前まで			○
	M03	ジチオカーバマート	マンゼブ		5回以内				
ダコニール1000※	M05	クロロトリル	TPN	6回以内	6回以内	収穫7日前まで			

※ダコニール1000は発病前に散布する。

★農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください★

農林水産省「農薬情報」 [http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_info/](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)  
 (独) 農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報提供システム」  
[http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

#### 《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病虫害防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900  
 7030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：技師 佐藤香緒里